

ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2010年7月11日現在

概況 ワシントン州東部の7月11日に終る1週間の気象は、高温・乾燥気象となった。EC地区の最高気温は95～99度Fとなり、平均気温は平年を1～5度F上回った。降雨は全く記録されなかった。Palouse地方(SE地区)の最高気温はPullman観測所の90度F以外は全観測所にて100～105度Fとなり、平均気温は平年を1～14度F上回った。同地区でも降雨記録されなかった。1週間の州平均農作業稼働日数は6.7日(前週:6.2日)となった。Topsoil及びSubsoilの土壌水分は、前週より乾燥し“Short”が増えたが、5年平均より良好な状態を保った。高温気象となりleaf rustの蔓延は抑えられた。しかし冬小麦の生育の遅い山麓地帯では、急激な温度の上昇は澱粉蓄積には不適であった。Lincoln郡、Adams郡の冬小麦は順調に登熟していると報告された。Walla Wall郡では105度を経験したが、冬小麦の澱粉蓄積には支障が無かった模様。Garfield郡では硬質春小麦の品種Jeffersonにさび病が発生しているとの報告があった。冬小麦は概ね枯熟期となり収穫直前である。春小麦は82%が出穂した。冬小麦の作柄は前週より上がったが、春小麦の作柄は高温・乾燥気象のため前週より落ちたが、両小麦とも昨年より高単収が期待されていた。

ワシントン州の2010年産小麦の作付け品種を見ると、冬小麦の内74%がCommon Soft White Wheatであり、その第1位の作付け品種はEltan、2位がClearfield (ORCF 102)、3位Xerpha、4位Westbred 528、5位Madesenとなっている。Eltanは乾燥地帯のEC地区の主力品種であり、ORCF 102はPalouse地方の主力品種となっている。Winter Club Wheatは2009年産の作付面積(119,000 acres)より増え222,500 acresとなり、Clubの第1位の品種はBruehlでWinter Club作付面積の75.9%を占めた。第2位はChukar、3位が古い品種Moro、4位がCara、5位がCoda(オレゴン州では第1位の品種)となっている。Club WheatはEC地区にて作付されている。春小麦の作付けはワシントン州全小麦の約24%を占めるが、春小麦の内Common Soft Wheatの作付けは46%となっている。Common Soft Wheatの主力品種はLouiseでSpring Soft Wheatの作付面積の63%を占めた。第2位がNick、第3位がAlpoa、第4位がWakanzであった。Spring Club Wheatは1品種Edenが17,6000 acres 乾燥地帯(EC地区)に作付けられた。Common Soft White(Winter及びSpring)とClub Wheat(Winter及びSpring)の合計作付面積は1,798,800 acresであり、内Clubの作付面積は240,100 acresと発表されており、Clubの占める面積は全Soft Wheatの13.3%となる。

2010年7月1日付けUSDAの2010年産小麦の生産量予想では、ワシントン州の冬小麦の単位収量は6月1日予想より3.0 bushel 増え65.0 bushels/acre(約4,423kg/ha)と予想され、収穫面積も昨年より増えており、生産量は昨年の約15.5%増の111,800,000 bushels(約304万トン)と予想された。

土壌水分及び灌漑用状況(*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	4	32	60	4
	Last week	3	12	73	12
	5-Yr Ave.	11	38	51	0
Subsoil	This week	3	38	57	2
	Last week	3	31	64	2
	5-Yr Ave.	11	39	50	0
Irrigation	This week	0	1	98	1
	Last week	0	1	98	1
	5-Yr Ave.	2	4	93	1

冬小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Headed	100	99	100	100
Harvested	0	0	4	3

ご質問又はご意見は、OMIC USA Inc.小川正晃 ogawa.max@omicnet.comまでお願い致します。

© Copyright 2002-2009 OMIC USA Inc. All rights reserved.

冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	1	7	13	56	23
Last week	2	8	13	52	25

春小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Headed	82	62	98	95

春小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	2	19	59	20
Last week	0	0	20	60	20

(*) Source: National Agricultural Statistic Service, Washington-Field Office, USDA. 5-Yr Ave means average of past 5 years 2005,2006,2007,2008 and 2009 Crop year.

2010年7月1日付けUSDA冬小麦生産量予想

State	Area Harvested 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2009	2010	2009	2010		2009	2010
				June 1	July 1		
Washington	1,640	1,720	59.0	62.0	65.0	96,760	111,800
USA	34,485	32,085	44.2	46.6	46.9	1,522,718	1,505,493

2010年7月1日付けUSDA春小麦生産量予想

State	Area Harvested 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2009	2010	2009	2010		2009	2010
				June 1	-		
Washington	585	555	45.0	56.0	-	26,325	31,080
USA	12,955	13,590	45.1	44.6	-	584,411	606,755

以上